

全国学力・学習状況調査とは

○調査の目的

- ・児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・義務教育の機会均等とその水準の継続向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を分析・把握し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○調査の対象とする児童生徒

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

○教科に関する調査

〔国語、算数・数学、理科〕

○調査事項

◇国語、算数・数学について(理科についてはA・Bの区分けなし)

【主として「知識」に関する問題→A問題】

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

【主として「活用」に関する問題→B問題】

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

【質問紙調査】

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜教科に関する現状＞

小学校国語の成果と課題

【国語A】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと。
- △ 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。

【国語B】

- 目的に応じて複数の本や文章などを選んで読むこと。
- △ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。

小学校算数の成果と課題

【算数A】

- 180° の角の大きさを理解すること。
- △ 円周率を求める式として正しいものを選ぶこと。

【算数B】

- △ 「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを答えること。
- △ 横の長さが7メートルの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを書くこと。

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜教科に関する現状＞

小学校理科の成果と課題

【理科】

- 流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶこと。
- 太陽の一日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係をものづくりに適用すること。
- △ 一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書くこと。
- △ 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書くこと。

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜教科に関する現状＞

中学校国語の成果と課題

【国語A】

- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。
- 慣用句の意味を理解すること。
- △ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すこと。

【国語B】

- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること。
- △ 「天地無用」という言葉を誤って解釈してしまう理由を書くこと。

中学校数学の成果と課題

【数学A】

- 単項式どうしの除法の計算をすること。
($6a^2b \div 3a$)
- △ 長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに 90° だけ回転移動した図形を書くこと。

【数学B】

- グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に説明すること。
- △ 与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えること。
- △ 数学的な表現を用いて説明すること。

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について ＜教科に関する現状＞

中学校理科の成果と課題

【理科】

- 光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用すること。
- ガスバーナーの空気の量を調整する場所を指摘すること。
- 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることについて答えること。
- △ 太平洋高気圧（小笠原気団）の特徴について答えること。
- △ アルミニウムの原子の記号の表し方について答えること。

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<小学校:教科に関する現状>

○各分野ごとの問題の領域

各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

国語A・Bの各領域

- ・「話すこと・聞くこと」 ・「書くこと」
- ・「読むこと」 ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

算数A・Bの各領域

- ・「数と計算」 ・「量と測定」 ・「図形」 ・「数量関係」

理科の区分等

- ・「物質」 ・「エネルギー」 ・「生命」 ・「地球」

○問題形式

選択式、短答式、記述式の3種類の問題が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

【各領域の主な成果と課題】

- 国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で成果が見られる。
- △ 算数A・Bとも複数の領域で課題が見られる。
- △ 理科の複数の領域で課題が見られる。

【問題形式の主な成果と課題】

- 国語Aの「選択式」「短答式」の問題形式で成果が見られる。
- △ 算数A・Bとも「短答式」「記述式」の問題形式で課題が見られる。
- △ 理科の「短答式」「記述式」の問題形式で課題が見られる。

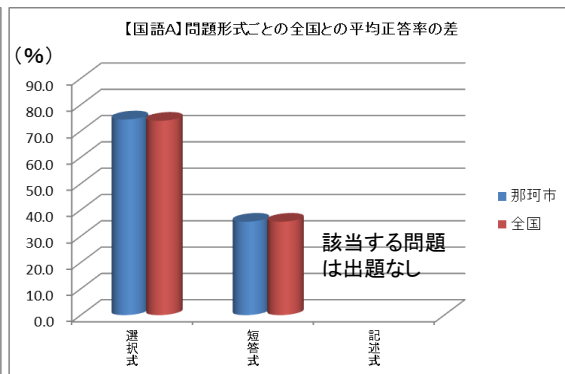
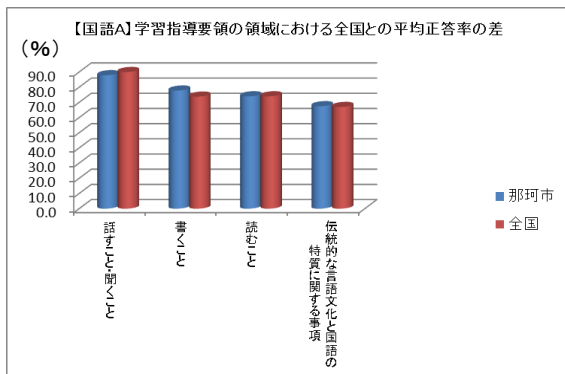
平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<小学校:教科に関する現状>

小学校

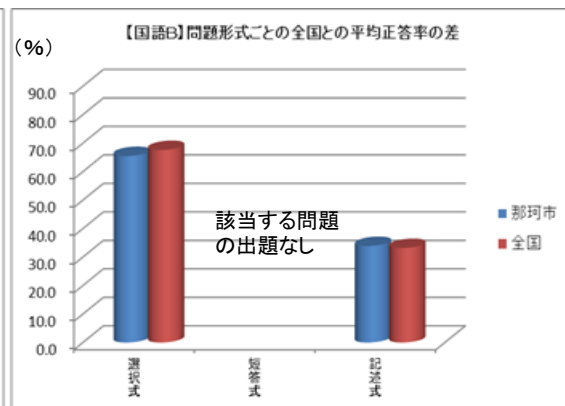
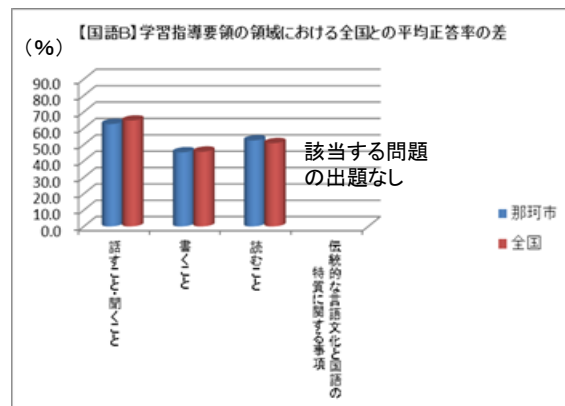
国語A

(設問数12問)



国語B

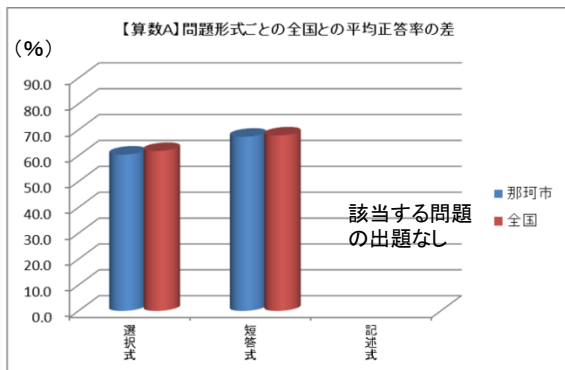
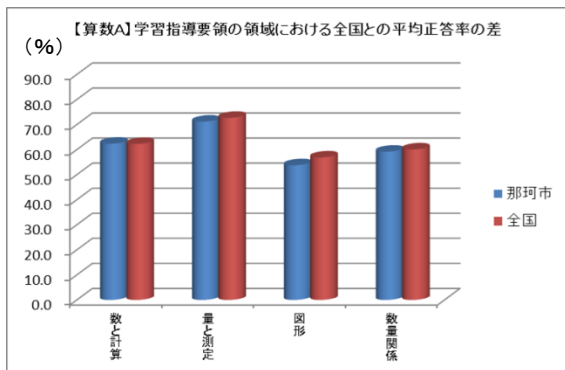
(設問数 8問)



小学校

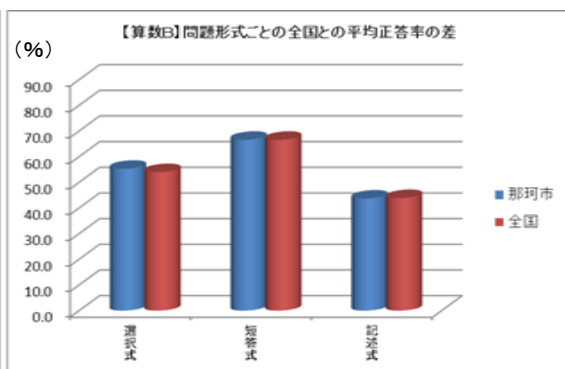
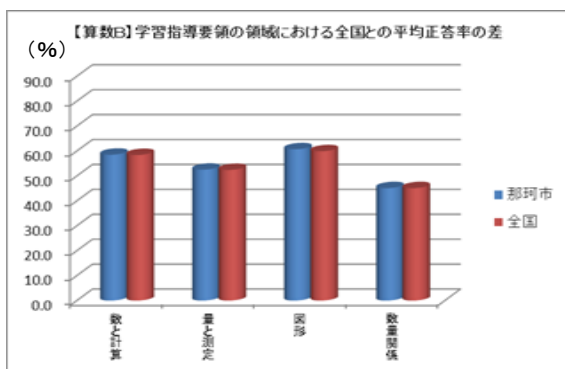
算数A

(設問数14問)



算数B

(設問数10問)



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>をご覧ください。

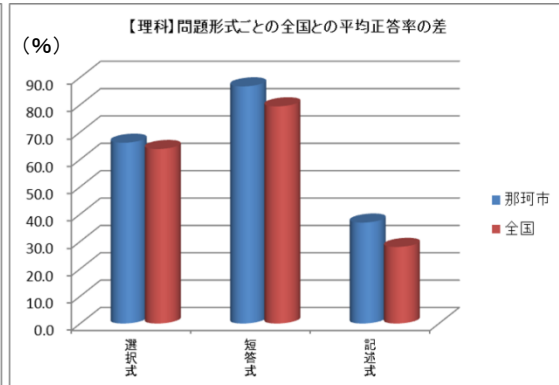
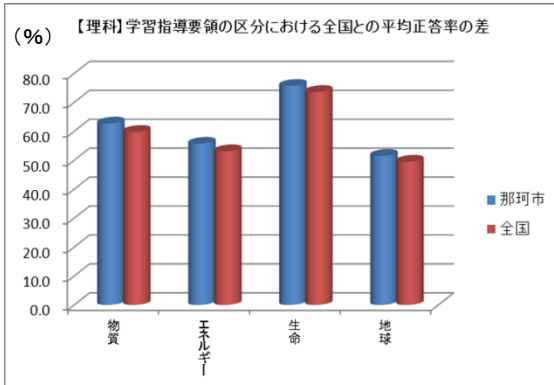
平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<小学校:教科に関する現状>

小学校

理科

(設問数16問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>をご覧ください。

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

○各分野ごとの問題の領域

各分野では、下記の領域ごとの問題が出題されている。

国語A・Bの各領域

- ・「話すこと・聞くこと」 ・「書くこと」
- ・「読むこと」 ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

算数A・Bの各領域

- ・「数と式」 ・「図形」 ・「関数」 ・「資料の活用」

理科の区分等

- ・「物理的領域」・「化学的領域」・「生物的領域」・「地学的領域」

○問題形式

選択式、短答式、記述式の3種類の問題が出題されている。

各領域及び問題形式の主な成果と課題

【各領域の主な成果と課題】

- 国語A・Bのすべての領域で高い成果が見られる。
- 数学A・Bのすべての領域に成果が見られる。特に、Aの「資料の活用」の領域で高い成果が見られる。
- 理科のすべての領域に成果が見られる。

【問題形式の主な成果と課題】

- 国語A・B、数学A・B、理科とも各問題形式は、全国と比較して成果が見られる。

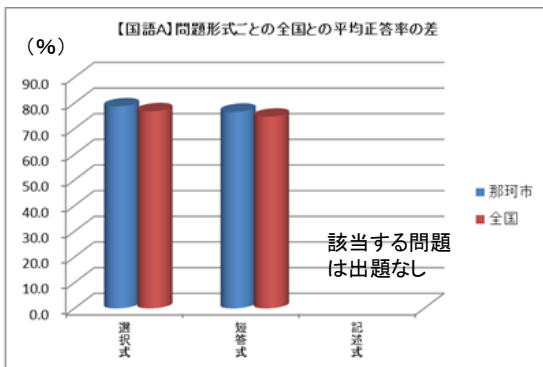
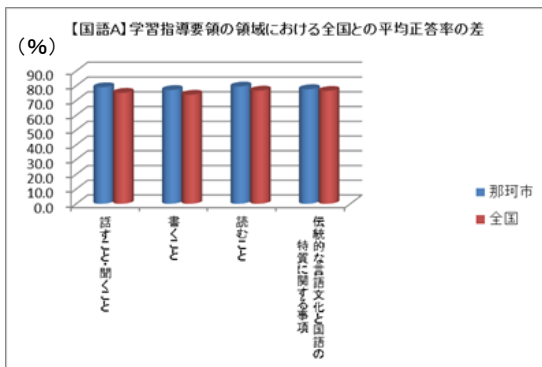
平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<中学校:教科に関する現状>

中学校

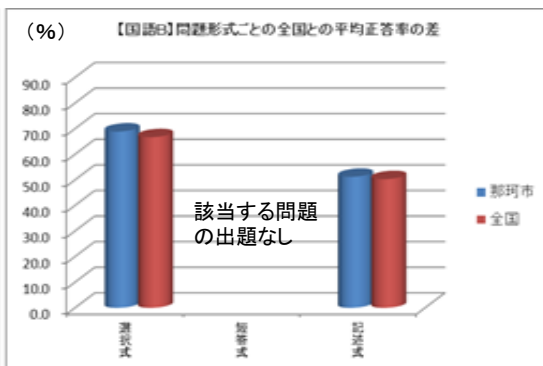
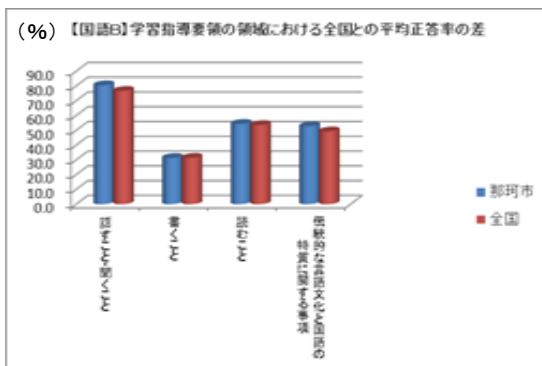
国語A

(設問数32問)



国語B

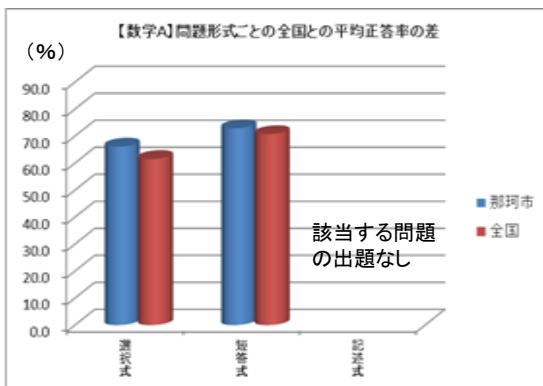
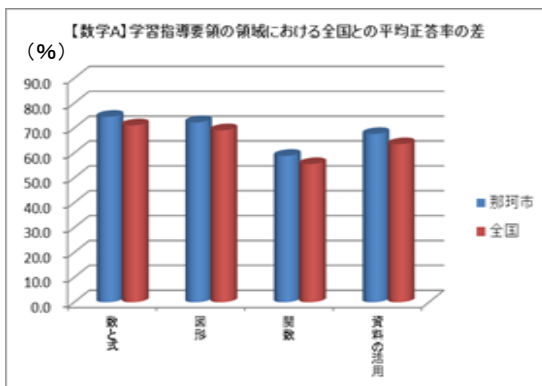
(設問数9問)



中学校

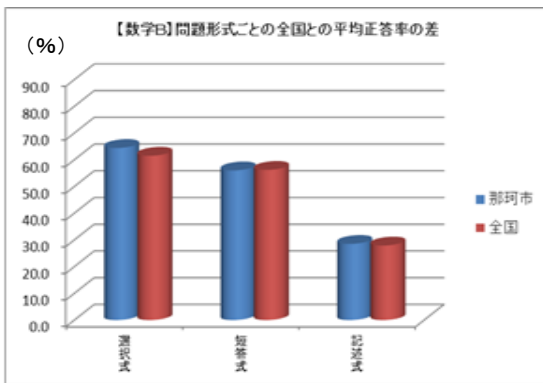
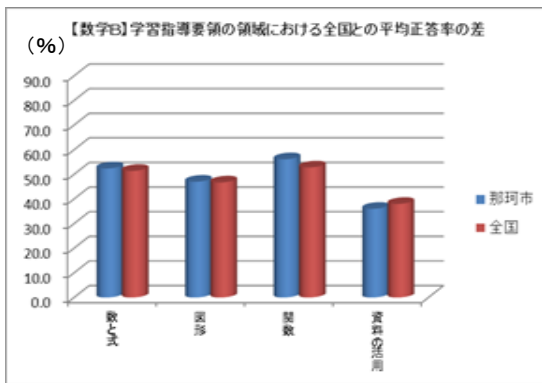
数学A

(設問数36問)



数学B

(設問数14問)



【参考】

実際の問題は、国立教育政策研究所

<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>をご覧ください。

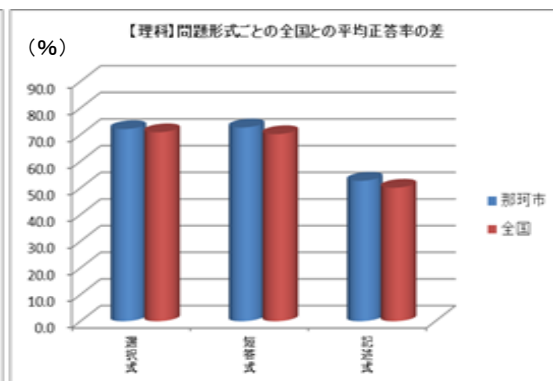
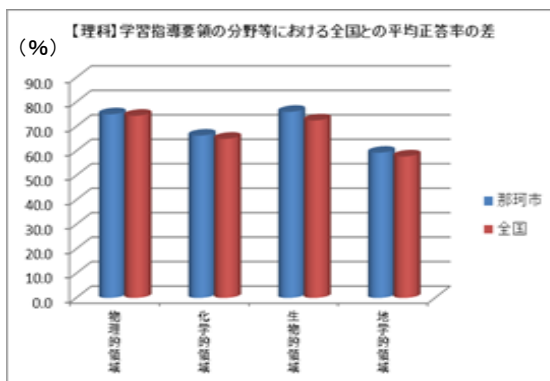
平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

＜中学校：教科に関する現状＞

中学校

理科

(設問数27問)



【参考】 実際の問題は、国立教育政策研究所
<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>をご覧ください。

平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年473人、中学3年453人】>

平成30年度 基本的な生活習慣における全国との比較(参考:茨城県)

※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

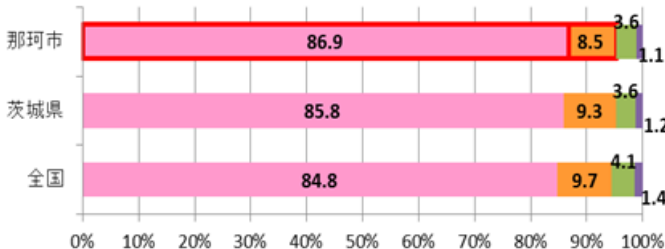
小学校

中学校

◇ 「朝食を毎日食べていますか」については、全国と比較すると、小学校も中学校もやや高い傾向が見られる。

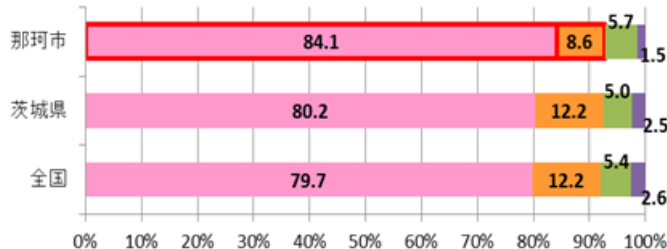
Q: 朝食を毎日食べていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 朝食を毎日食べていますか

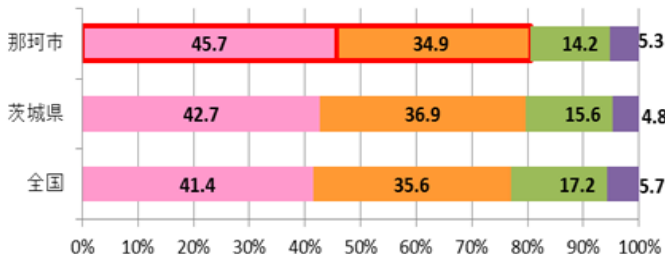
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」については、全国と比較すると、小学校も中学校もやや高い傾向が見られる。

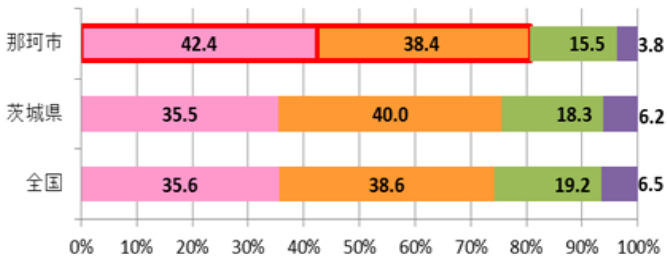
Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

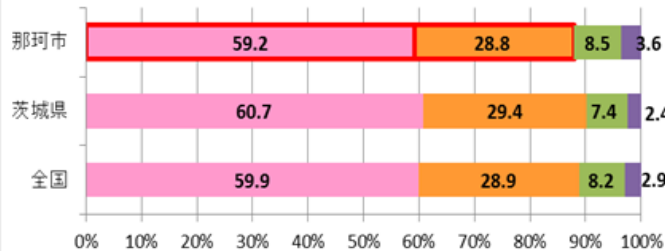
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、全国と比較すると、小学校は同程度、中学校は高い傾向が見られる。

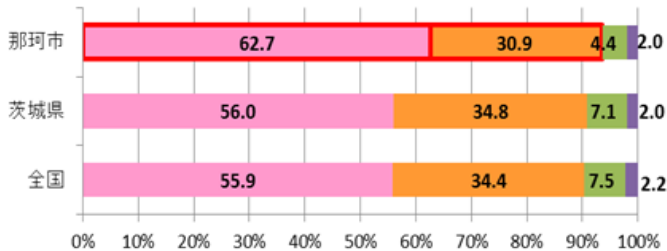
Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年473人、中学3年453人】>

平成30年度 自尊感情における全国との比較(参考:茨城県)

※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

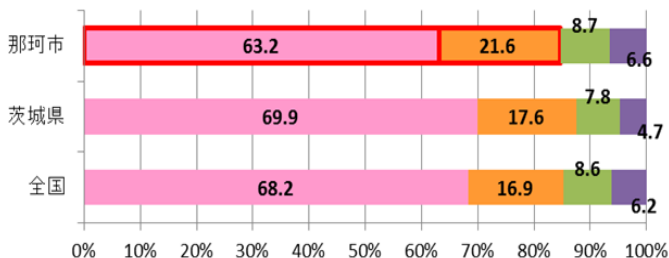
小学校

中学校

◇ 「自分には、よいところがあると思いますか」については、全国と比較すると、小学校は低い傾向、中学校は同程度の傾向が見られる。

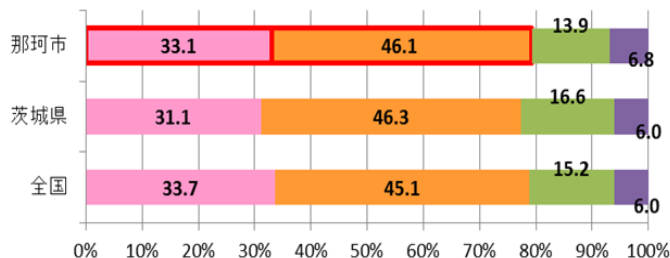
Q: 自分にはよいところがあると思いますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 自分にはよいところがあると思いますか

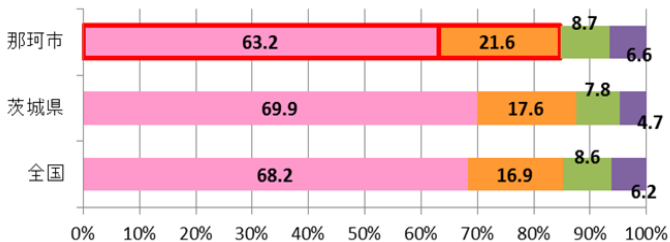
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「将来の夢や目標を持っていますか」については、全国と比較すると、小学校は低い傾向、中学校はやや高い傾向が見られる。

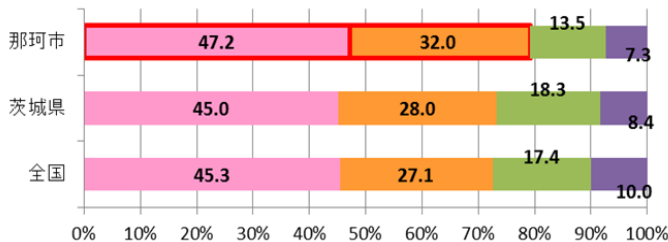
Q: 将来の夢や目標を持っていますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 将来の夢や目標を持っていますか

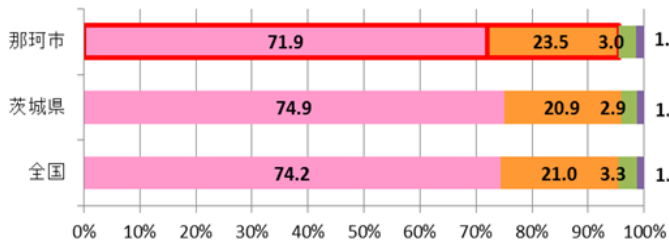
■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



◇ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、全国と比較すると、小学校はやや低い傾向、中学校は低い傾向が見られる。

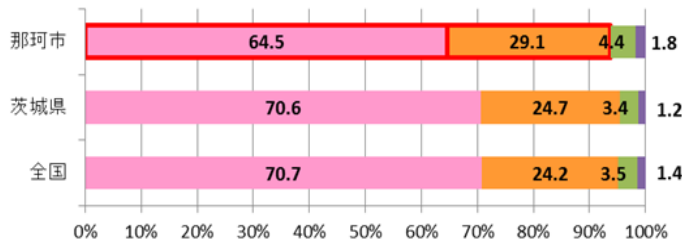
Q: 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



Q: 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



平成30年度全国学力・学習状況調査 那珂市の現状について

<児童生徒質問紙に関する現状【調査対象：小学6年473人、中学3年453人】>

平成30年度 家庭学習における全国との比較(参考:茨城県)

※「している」「どちらかといえば、している」の割合(%)で比較。

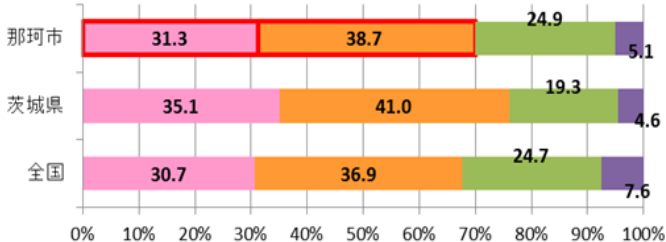
小学校

中学校

◇ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」については、全国と比較すると、小学校・中学校ともにやや高い傾向が見られる。

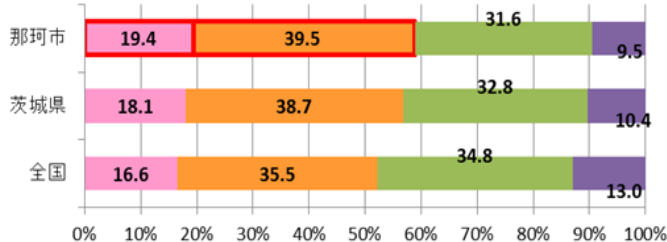
Q:家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

■している ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



Q:家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

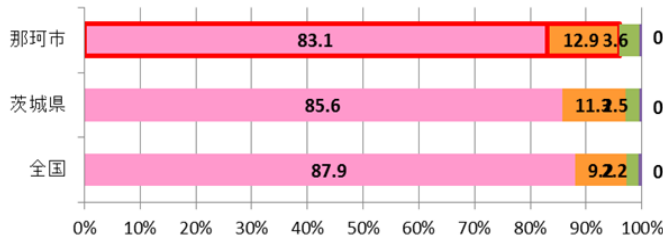
■している ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



◇ 「家で、学校の宿題をしていますか」については、全国と比較すると、小学校はやや低い傾向、中学校は高い傾向が見られる。

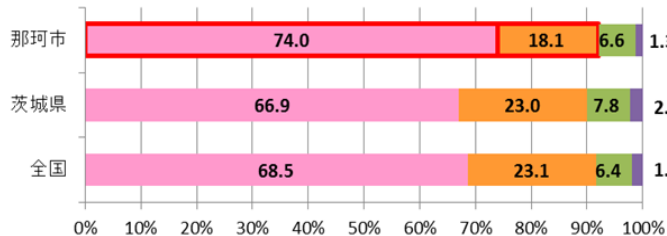
Q:家で、学校の宿題をしていますか

■している ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



Q:家で、学校の宿題をしていますか

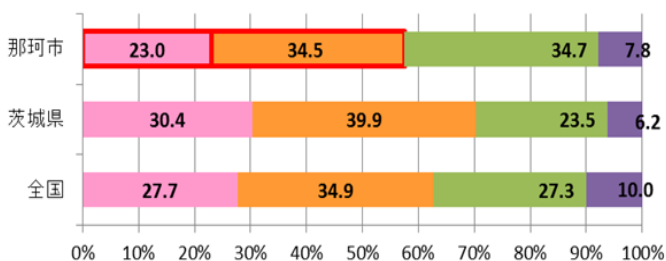
■している ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



◇ 「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」については、全国と比較すると、小学校はやや低い傾向、中学校は低い傾向が見られる。

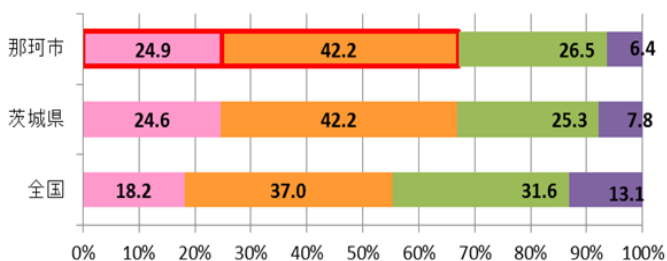
Q:家で、学校の授業の予習・復習をしていますか

■している ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



Q:家で、学校の授業の予習・復習をしていますか

■している ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



結果から見えてきた課題の改善方策について

○小中学校が「授業」で継続して取り組んでほしいこと

- ・全国、茨城県、那珂市の調査結果と自校の調査結果を比較し、自校の課題を明確にし、授業改善を行う。
- ・児童生徒の「問い」を引き出す授業づくりを実践し、主体的に取り組む意欲付けを図る。
- ・授業の冒頭でねらいを明確にする活動、授業の最後に学習したことを振り返る活動を通して、児童生徒一人一人が授業で学習した内容を確認できるようにする。
- ・ペアや小集団による話し合い活動などを設定し、児童生徒が友達との対話の中で学びを得られるようにするとともに、全員が授業の中で活躍する場をもてるようにする。
- ・文部科学省が示している「授業アイデア例」を参考に、授業を構想する。
- ・「学びのデザイン」「学習の手引き」の日常化を図り、児童生徒の学びをつなげ、向上させていく。

今後のさらなる学力向上に向けた改善方策について

○小中学校に向けた教育委員会から発信すること

- ・主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりができるように研修を実施する。
- ・全国学力・学習状況調査問題の結果を活用し、課題の見られた内容について再度学習する。
- ・小中一貫教育の前期・中期・後期ごとの9年間の学びを見据えた「学習の手引き」の活用例を各小中学校に発信し、児童生徒の自ら学ぶ力を育てていく。
- ・多様な問い方(否定命題、説明する問題<事柄・事実、方法、手順、理由>等)を参考にし、本時の課題の質を高めていくように助言指導していく。(課題そのもの、課題提示の工夫等)